

## 令和2年度 東京都立板橋高等学校 学校経営計画

東京都立板橋高等学校長  
西島 宏和

### 1 目指す学校像

本校の教育目標

- ① 個性や能力を伸ばし、生徒一人一人の自己実現を援助する。
- ② 自主性を大切にし、実行力と創造力に富んだ生徒を育てる。
- ③ 健全な心身の成長を促し、社会的責任を自覚した生徒を育てる。
- ④ 学ぶ喜びを体験させ、生涯にわたって学ぶ意欲・態度を培う。

教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。

### 2 中期的目標と方策

#### 「勉学・部活動の両立」

勉学及び部活動に対して意欲的に取り組み、学校生活に対して充実感を持つ。

「学びの基盤」プロジェクト研究協力校として、「読解力」及び「自ら学ぶ力」を育成する。

- ① 「確かな学力」向上プログラム－教科主任の活用、教科会の充実
- ② 「豊かな人間性」育成プログラム－社会貢献・地域貢献の推進
- ③ 「健康・体力」向上プログラム－部活動・特別活動等の充実

生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼され、地域に貢献する人間を育成する。

分掌（プロパー）が主体となり、学年・教科等と連携し、学習指導・生活指導・進路指導の徹底を図る。

「チーム板橋」を構築し、教職員が一体となった組織的な指導体制を推進する。

### 3 今年度の取組目標と方策

各組織	教育活動の目標と方策	重点目標と方策	数値目標 (前年度実績)
学校経営	・企画調整会議・主幹会議の活性化 (ミドルマネジメント) ・「チーム板橋」の構築	・教職員の情報の共有化 ・分掌、学年、教科間の連携強化	
教務部	・学習習慣の確立 ・授業力向上に向けた取組 ・教員相互の授業見学 ・生徒による授業評価の実施	・生徒に学習習慣を身に付けさせる ・教科と連携した週末課題を課すことによる自主学習時間の伸長 ・学んだことを活用させる授業の展開	・自主学習時間1日1時間以上60%以上 (1年66.2%、2年65.1%、3年60.7%) ・教員の自己評価70%以上
生徒部	・基本的生活習慣の確立 ・身だしなみ指導の徹底 ・規範意識の向上 ・安全教育(生活・交通)の推進 ・学校に対する帰属意識の醸成 ・部活動の活性化	・遅刻指導及び挨拶指導の強化 ・身だしなみ(頭髪・化粧・服装)指導の強化 ・新しい施設を活用した部活動の推進	・遅刻者6.0%以下 (1年2.6%、2年5.3%、3年5.9%)

進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的なキャリア教育の推進</li> <li>・個々の生徒に応じた進路指導</li> <li>・第一志望の実現</li> <li>・大学入学共通テスト受験促進</li> <li>・進路の手引きの充実・活用</li> <li>・上級学校説明会への参加</li> <li>・進路ガイダンス、個別相談の充実</li> <li>・同窓会と連携した講演等による職業観の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年と連携した、組織的かつ系統的な進路指導</li> <li>・大学入試一般受験の促進</li> <li>・「都立高校生のための社会的・職業的自立支援プログラム事業」の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年制大学進学率40%以上(32%)</li> <li>・日東駒専以上現役合格10名以上(5名)</li> <li>・進路未決定率10%未満(10.1%)</li> <li>・自立支援教育プログラム活用1.2年6回(1年4回、2年2回)</li> </ul>
保健庶務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康づくりの推進</li> <li>・校内外の環境美化</li> <li>・教育相談体制の充実</li> <li>・安全教育の推進(災害安全)</li> <li>・社会貢献の推進(奉仕体験活動、PTAとの連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医との連携強化</li> <li>・新校舎における美化体制の構築</li> <li>・関係機関と連携した防災教育の推進</li> <li>・地域清掃の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級救命講習1学年生徒全員受講(26~30年度全員受講)</li> </ul>
学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌・教科と連携、きめ細かい指導</li> <li>・生徒及び保護者への丁寧な説明</li> <li>・在り方生き方を考えさせる</li> <li>・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大学年会の充実</li> <li>・自習室の活用促進</li> <li>・ポートフォリオ、手帳の活用</li> <li>・教科と連携した週末課題を課すことによる自主学習時間の伸長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習室開放180日以上(1年20日、2年20日、3年25日)</li> </ul>
教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科における授業改善・学力向上</li> <li>・体力・運動力の向上</li> <li>・教科会の充実</li> <li>・ICT機器の活用</li> <li>・英語教育の改善・充実</li> <li>・主権者教育、消費者教育の推進</li> <li>・講習や補習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力スタンダードに基づく学力調査の実施</li> <li>・生徒による授業評価の検証</li> <li>・授業以外の講習や補習の充実</li> <li>・大学入試改革に対応した英語教育の充実</li> <li>・学習課題(宿題)の徹底と学習習慣の確立</li> <li>・学んだことを活用させる授業の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部模試GITZ:C2以上(国・数・英)</li> <li>・学力調査得点50%以上(理・社)</li> <li>・教員の自己評価70%以上</li> </ul>
学校全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの基盤」プロジェクト研究協力校としての取組</li> <li>・「学校における働き方改革推進プラン」に基づく「ライフ・ワーク・バランス」の推進</li> <li>・服務規律の遵守(体罰根絶)</li> <li>・いじめ総合対策及び自殺総合対策大綱に基づく対応</li> <li>・募集、広報活動の充実</li> <li>・情報発信の工夫・改善</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の推進</li> <li>・地域に開かれた学校づくり</li> <li>・板高シンポジウムの充実</li> <li>・文化・スポーツ等特別推薦入試の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの基盤」プロジェクトを活用した基礎学力の向上(読解のプロセスを取り入れた「読解力」及び教科の本質的な問いについて考えさせることによる「自ら学ぶ力」の育成)</li> <li>・業務を精選し、その効率を上げ、勤務時間、各種会議時間を縮減</li> <li>・サービス事故防止研修の充実</li> <li>・いじめの未然防止、早期発見・対応「いじめ対策委員会」を核とした取組</li> <li>・年3回のアンケート実施</li> <li>・学校説明会、個別相談会の充実</li> <li>・ホームページの更新促進</li> <li>・ランドデザインに基づく、新教育課程の完成、授業計画の検討</li> <li>・生徒の自尊感情を高める取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の在校時間、1日11時間以内、週60時間以内</li> <li>・サービス事故ゼロ</li> <li>・入選一次学力検査倍率1.40倍(1.47倍)</li> <li>・塾訪問数100塾以上(130塾)</li> <li>・ホームページ更新回数200回以上(190回)</li> </ul>
経営企画室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる経営参画</li> <li>・適正な予算執行</li> <li>・教育環境の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律経営推進予算の適正な編成及び執行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律経営推進予算の一般需用費センター執行割合60%(59.3%)</li> </ul>